

# スカウト兵庫

2018  
No.5  
1



## 特集

“阪神さくら地区・国際交流”  
“富士スカウト海外派遣助成事業”

県下各地区JOTI参加

スペシャルオリンピックス 近畿ブロック大会VS・RS奉仕

兵庫連盟活動振興大会・ビーバーまつり

“神戸垂水、姫路 地区”

元気な団紹介

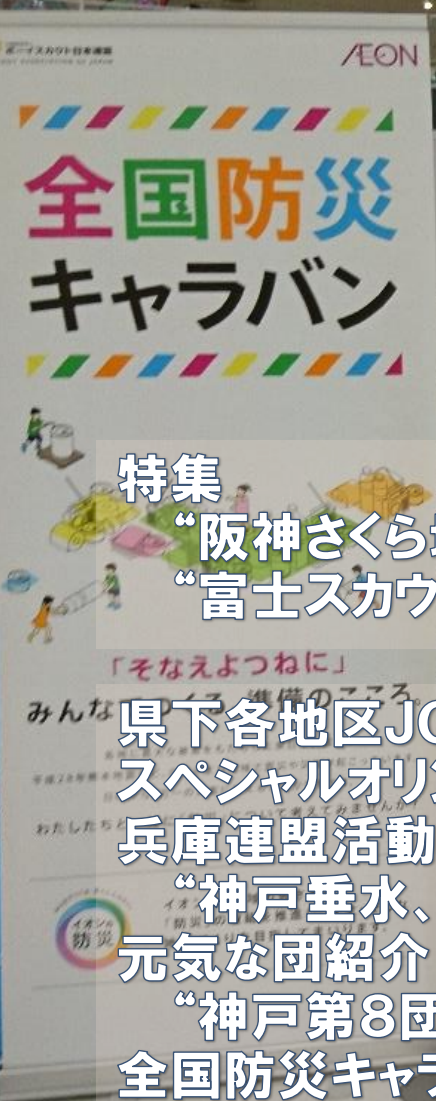
“神戸第8団、神戸第54団”

全国防災キャラバン

“はりま、阪神北、姫路 地区”

兵庫県青少年本部 ひょうごっ子 ふるさと塾

“姫路第6団”



# 国際交流

世界には多くのスカウト仲間がいます。その仲間と交流し、親交を深めるのが海外派遣です。言葉や習慣が違って、同じ三指の仲間です。それぞれが普通の海外旅行とは違った深い交流をしてきています。県下スカウトが参加したこの夏の海外派遣をご紹介します。

## 阪神さくら地区 第3回北米・ワシントン州派遣



### 参加者の感想

- アメリカのスカウトは、みんな積極的に意見を言うので驚いた。自分も見習おうと思った。
- ボイスカウトがとても有名だった。• 英語の勉強をして、次は指導者として行きたい。
- みんながとてもフレンドリーで、楽しかった。コミュニケーション能力は重要だと思った。

### 米・ワシントン州 キャンプ ピゴット

7月26日～8月7日 参加スカウト：22名

アメリカスカウトのサマーキャンプに参加し、メリットバッジ（技能章）取得のための講義を受講。

シアトル近郊での4泊5日のホームステイも行いました。



## 第31回アジア太平洋地域 スカウトジャンボリー派遣

### モンゴル・ウランバートル市郊外

7月26日～8月2日 参加スカウト：西宮第10団 小泉 智弘

スカウトの歴史が浅いモンゴルでの開催だったので、比較的小規模なジャンボリーでしたが、その分濃い交流が楽しめました。伝統的な移動式住居・ゲルに入ったり、モンゴル相撲を体験したりとモンゴルの文化を体感できました。

## 2017アメリカジャンボリー派遣



### 米・ウエストバージニア州 サミットベクテルリザーブ

7月18日～31日 参加スカウト：西宮第25団 三重野 淳也

2019年世界ジャンボリーのプレ大会に日本隊9名の一人として参加しました。

広大な会場には1kmのジップラインや巨大なクライミングウォールなど様々なアクティビティーがあり、アメリカのスカウトや各国からきたスカウトと共に活動しました。皆さんも是非、本番の24WSJに参加を！

阪神さくら地区では、国際人を育てるために、留学生を招いて、月に一度、英会話練習会（BSECC）も開催しています。





▲アトラス山脈にて 犠牲祭のため羊を暮るアマジグの家族



▲アトラス山脈トレッキング 購入したドンキーとテント



▲シャフシャウエンにて モロッコのスカウトたち



▲アトラス山脈にて 初めての家族写真に興奮するアマジグ人の家族

## 経験と学び

2017年8月に湯浅拓海はアトラス山脈で今もなお伝統的な生活を営むアマジグ人と交流するため、モロッコ王国を1ヶ月間訪れた。

8/13にモロッコへ入国後、現地のスカウトの友達と合流し、彼女の家に5日間ホームステイを行いながらモロッコの伝統的な生活習慣・宗教習慣・作法を学んだ。また彼女の紹介で他団のスカウトと交流し、モロッコの文化をスカウトから聞くことができた。今回モロッコを活動場所にした理由の1つはイスラームの正しい理解を学ぶことでもある。実際にムスリムの彼らにイスラームのことや過激派については話を聞いてみる。彼らの“生の言葉”にはインターネットでは知ることのできない貴重な学びがある。

いよいよ今回のプロジェクトの第1の目的である“アマジグ人の文化研究トレッキング”のため、アトラス山脈へとやってきた。出発地点であるMideltでアマジグ人からドンキーを25000円で購入しトレッキングを開始。9日間かけて山脈に住む伝統的な生活を営むアマジグ人の村々を訪れながら200kmを歩ききった。毎日約15kgの荷物と8Lの水を背負いながら、約20km歩き、日中は言葉の通じないアマジグ人と交流し、夜には薪を集め火を焚きご飯を作る生活は、スカウトとしてのスキルが問われる過酷な日々であった。

トレッキング中に出会った親切なアマジグ人にイスラームの祝祭“犠牲祭”に招待された。犠牲祭とは旧約聖書の伝承に基づいており、この日には、親戚一同が集まり、みなで羊を葬り、神に捧げ、そしてその羊を食するという習慣がある。私はこの犠牲祭の期間に貨幣文化がほぼ無く、自給自足の人口300人程度の村で7日間ホームステイを実施しイスラームの文化を体験した。

私がこの経験を通して学んだこと、それは正しい理解・知識がなくては人々は安易に他の文化を否定してしまうということ。旅で出会ったアマジグ人に過激派イスラームについて問いかけてみたときに、「なぜ日本人は原爆を落とした米国をテロリストとは呼ばず、なにも悪いことをしていない一般市民のムスリムを警戒する?」と言われた。今日ではスマートフォンでなんでも簡単に検索できる、そんな便利な時代だからこそ、経験としての知識が必要だと感じた。

みなさんも是非様々な事に挑戦・経験してほしい。



# JOTI 2017

10月第3週の金・土・日は、世界中のスカウトがインターネットでつながるJOTIです。今年は20日～22日に行われました。スカイプを利用し相手を見ながら話ができるので、身振り手振りも駆使すれば、英語がちょっと苦手なスカウトでも簡単に国際交流ができます。県下各地区で行われたJOTIをご紹介します。

10月21日 13:30～18:00 西宮市民交流センターにて  
交信した国：11カ国 参加者：15名

阪神さくら

事前にインスタ・フェイスブックのJOTIグループに登録したのが功を奏し、ほぼ切れ目なく、交信することができました。今までは、時差の関係もあり、近隣国との交信が多かったのですが、今年はアメリカやインド、オーストリアやイギリスのスカウトとも交流することができました。



阪神さくら



はりま



阪神北



### 参加者感想

- ・英語ができなくても通じた！！(CS)
- ・外国の人と話しができて、楽しかった(BS)
- ・次はキャンプをしながらやって世界中とつながりたい(VS)
- ・ボーイスカウトが世界中にいることを実感できた(保護者)



## 2017年第2回スペシャルオリンピックス日本 近畿ブロック大会

2017年9月23日(祝)

会場：尼崎記念公園、尼崎スポーツの森プール、  
神戸六甲ホール

共催：スペシャルオリンピックス日本・兵庫ほか  
後援：兵庫県、尼崎市、兵庫県障害者スポーツ協会、  
スペシャルオリンピックス日本ほか  
協力：ボーイスカウト兵庫連盟ほか  
主管：スペシャルオリンピックス日本・兵庫  
運営主体：2017年第2回スペシャルオリンピックス日本・  
近畿ブロック大会組織委員会



### スペシャルオリンピックス奉仕感想

今回、私はスペシャルオリンピックスの奉仕活動というとても貴重な経験をさせていただきました。私の奉仕内容は開会式での誘導、先頭でプラカード持ちをするという簡単な内容でした。しかし、今までスペシャルオリンピックスのために努力してきた選手たちの真剣な表情とやる気に満ちた想いに、私も応えなければならないと感じ、全力で取り組みました。

私はこの経験から、どんなに簡単な奉仕活動でも全力で取り組むことが大切だと感じました。なぜなら、全力で取り組めば取り組むほど、それだけ他の人々のためになり、自分のためにもなるからです。

私はこれからもスカウトとして、どんな奉仕活動も全力で取り組んでいこうと思います。

西宮第6団 ベンチャー隊 西口 貴斗





# 兵庫連盟活動振興大会



## 神戸垂水地区

### 神戸垂水地区活動振興大会

4月16日(日) 西神中央公園

神戸市西区の西神中央公園にて、4月16日、2017年度の活動振興大会及び地区スカウトラリーを行いました。垂水地区10個団より総勢400人が参加致しました。

前半はセレモニー、後半は各部門に分かれ、BS部門は、制限時間内に会場内外の課題ポイントを班単位でクリアする活動、CS部門は、会場内の各種ポイントに挑戦する活動、BVS部門は、会場内に設けられた各種ゲームコーナーでのスカウトの相互親睦を高めること、体験会参加者には、スカウト活動の楽しさを味わってもらい、入団につなげる活動を行いました。

参加者は、広々とした会場でボーイスカウト活動の楽しさを満喫した一日でした。

神戸垂水地区 組織拡充委員会 斎藤 聖一



# ビーバーまつり特集



## 姫路地区

### 姫路地区ビーバーまつり

11月5日(日) 網干南公園



姫路地区活動振興大会の午後から網干南公園内のグラウンドにスカウト、指導者、一般参加者総勢102名集まりクラス対抗ゲームを行いました。短い時間だったけど秋晴れの下、元気に遊びました。



# 元気な団紹介



## 神戸第8団 “100人の仲間づくり” “親子でスカウティング”

このスローガンを掲げて新たな気持ちでスタートしたのが4年前でした。指導者、団委員のたゆまぬ努力と育成会の協力により、現在（29年7月29日）ではビーバー隊26名、カブ隊19名、ボーイ隊24名、ベンチャー隊4名、ローバー隊5名、リーダー17名、団委員10名、合計105名の登録を有するに至りました。昨年より3組・3班体制になった事はスカウトにやる気を促し、リーダーにも更なる向上心が出来たと喜んでます。

現在の悩みは若手のリーダーが少ないことから、若手のリーダー育成に力を入れなくてはなりません。しかしカブのやくそくではありませんが「まじめにしっかり」取り組んでいけば結果は必ずとついてくるものと信じています。

昨年は発団50周年を記念し、式典や記念植樹、そして今年は記念文集と常に前を向いて取り組んでいます。先人や多くの関係者に感謝しつつ、これからも謙虚にスカウティングと取り組んでまいりたいと考えています。

神戸地区 神戸第8団 団委員長 中川 清司



ボーイ隊活動写真



発団50周年記念式典



ビーバー隊活動写真



カブ隊活動写真

## 神戸第54団

私たち神戸第54団は神戸市東灘区、JR摂津本山界隈を拠点とし、今年45周年を迎えました。BVSからRSまでスカウト147名、そして活動を支えるリーダー、団委員を合わせて総勢44名。六甲山の南に位置するためBVSから六甲山がお友達。CSでは3年間での完走を目指し、20km×3コースの六甲分断縦走を行います。そしてBSになると1日での六甲全山縦走に挑戦します。最も過酷な活動なのに出席率は一番高いという珍現象（笑）。でも班ごとに先輩が後輩のサポートをするため、昨年の完走率はなんとBS 37/37=100%！

他にもBS夏期野営では設営物も自然の木から作成するのが原則。日本横断（高砂～城崎）サイクリングや、キスリングを背負っての春季移動キャンプなど、活動はちょっとキツめかも？

こんなBVSからRSまでの一貫教育を理解してくださる保護者の方々と、活動をいつも支えてくれる団委員さんが私たちの誇りです。



CS分断縦走（六甲最高峰）



BS全山縦走（ゴールの宝塚）



45周年記念イベント



BS隊夏期野営（木の設営）



団委員さんの技能草級の技！

# 兵庫県下3ヶ所で「全国防災キャラバン」開催される

～スカウトが万一に備えて災害時に役立つスカウトスキルを提供～

昨年に続いて2年目となる「全国防災キャラバン」が、イオン（株）の協力のもと、地域の小学生とその保護者を対象にイオン明石ショッピングセンター（9/9）・イオンモール伊丹昆陽（9/10）・イオンモール姫路リバーシティ（10/15）に於いて開催されました。はりま・阪神北・姫路地区のボーイ・ベンチャー・ローバースカウトが日頃の活動で身に着けたスキルを「災害時に役立つロープワーク」「レジ袋で応急手当体験」「AED体験」「簡単担架づくり・搬送体験」のプログラムとして、親切・丁寧に子どもたちや保護者の皆さまに提供しました。スカウト達は、他に伝える難しさを知り、一方参加された方から、「楽しかった」「難しかったけど楽しかった」「役に立った」との声。総参加者1186人をお迎えし、奉仕者104人の協力を得、事故無く無事開催することができました。ご奉仕ご協力くださいました皆様ありがとうございました。



兵庫県青少年本部 助成金事業

## ひょうごっ子 ふるさと塾

姫路地区 姫路第6団



姫路城でおもてなし



地蔵盆に参加



原の火祭りに参加



お父さんやお母さんが地方(田舎・実家)をもっている場合は、その地方が「ふるさと」と感じている子どもたちもいると思います。現代の子どもたちにとって「ふるさと」は自分が生まれた育った場所、それが本来の「ふるさと」かもわかりません。姫路地区姫路第6団では、スカウト達にとって、今住んでいる町や地域の自然・文化・風習を知り、その良さを自分の故郷として誇れることが大切と考え、ボーイスカウト活動において一般の子どもたちと一緒に交流する中で、ふるさとを愛し、風土と文化を守ってこられた、先人の知恵に学び、誇れるふるさとを発見すると共に今後伝えて行きたいと願って、様々に行事を企画し事業を展開しました。



アユ釣りに挑戦



英会話レッスン



宮司さんのお話し



山村交流

**ふれあいの祭典 西播磨ふれあいフェスティバル**

10月28・29日 播磨科学公園都市（芝生広場ほか）

西播磨ふれあいフェスティバルが、2日間で5万人の参加を見込んで準備が進められてきました。

西播地区としては、ピーバーまつりを兼ねたイベントとして、来賓案内や、震災復興募金活動、来場者アンケートの回収、会場美化活動など大会運営のお手伝いを行いました。また、ブーステントでは、ボーイスカウト（8名）を中心に缶バッチの作成体験の提供300個などを行いました。

広くボーイスカウトを知って頂く場として生かしたいという目論見は、台風前触れの大雨にたたられ、一般参加者の姿がまばらという残念な結果になってしまいました。

それでも、カブスカウト（34名）・ピーバースカウト（17名）は、びしょびしょになりながらも奉仕活動やゲームなどを楽しむ事が出来たようでした。



**平成 29 年度  
富士章・隼章・菊章  
取得者を紹介します。**



**富士章**

前号～現在

西宮第 13 団 露崎 悠介  
以上：1名



**隼章**

前号～現在

姫路第 16 団 増田 桃乃  
姫路第 16 団 北垣 妃那  
以上：2名



**菊章**

前号～現在

神戸第 60 団 大虫 勲 和  
西宮第 13 団 上田 海斗  
西宮第 13 団 渡辺 翔太  
神戸第 60 団 大野 蒼  
神戸第 60 団 小山田 新  
神戸第 60 団 田中 佑汰  
神戸第 60 団 福田 翔太  
加古川第 4 団 藤本 奈緒  
以上：8名

**編集後記**

△今回も各地区よりたくさんの方の事を戴き、楽しく編集作業ができました。ありがとうございました。  
姫路地区 高木 敬三  
△他地区の活動にたくさんの方の刺激をもらいました。  
神戸垂水地区 斎藤 聖一  
△編集会議出席率が低くかつ口先参加で申し訳ございません。  
尼崎地区 加藤 正巳  
△今回も盛りだくさんの内容をお伝えすることができました。次号もご期待下さい。  
阪神北地区 田中 いつみ  
△編集にあたり、原稿たくさん盛り。嬉しい悲鳴をあげております。  
はりま地区 下門 篤弘

**新年のご挨拶**

兵庫連盟理事長 鈴木 武

今年が成年、忠実・誠実をイメージさせる年。安全第一で野外活動を楽しんでください。昨年師走、55年振りに少年時代に所属した宮城 17 団ボーイ隊の隊長と再会を果たしました。お互い風貌は変わりましたが目許に昔の面影を感じ、当時の思い出話を重ねるにつれ出会いの不思議を感じました。当時、大学生の隊長はポクトツ・バンカラ、スカウトの心を捉えていました。雪の舞う夕闇での B-P 祭、凍結した沼でのワカサギ釣り、積雪に道を誤ったハイキングなど、話は尽きません。私のスカウティングの原点はここにあります。この隊長に巡り会えた幸運とそのご指導の下に少年時代を過ごせた幸せを思い、ボーイ隊に入団し今日まで続けてきたことを心から良かったと感じています。

**表彰**

兵庫県青少年本部  
若人の賞



尼崎第 14 団  
藤原 健資

兵庫県青少年本部長賞  
(青少年の部)



芦屋第 3 団  
岡崎 正悟

兵庫県青少年本部長賞  
(指導者の部)



姫路第 8 団  
後藤 美枝子

兵庫県青少年本部長賞  
(指導者の部)



神戸第 55 団  
富永 和也

阪神北青少年本部長賞  
(青少年の部)



三田第 1 団  
湯浅 拓海

受賞された皆さま、  
おめでとうございます。

西宮市青少年表彰  
(個人の部)

西宮第 13 団  
浅山 智也

西宮市青少年表彰  
(個人の部)

西宮第 3 団  
小宮山 拓也

西宮市青少年表彰  
(個人の部)

西宮第 9 団  
竹内 仁志

西宮市青少年表彰  
(団体の部)

阪神さくら地区  
西宮第 11 団

